



Sun Capital Management Corp.

燦キャピタルマネージメント株式会社

平成 27 年 12 月 4 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号: 東証JASDAQ2134)
問 合 先 取締役 管理本部 本部長 岡田 和則
(TEL. 06-6205-5611)
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向等を踏まえて、平成27年5月15日に公表をいたしました平成28年3月期通期連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 平成28年3月期通期連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 27 年5月 15 日)	1,261	297	251	215	円 銭 17.19
今回修正(B)	634	△10	△46	△64	円 銭 △5.10
増減額(B-A)	△627	△308	△297	△280	円 銭 △22.29
増減率(%)	△49.7	—	—	—	円 銭 —
(ご参考) 前期実績(平成 27 年3月期)	377	△136	△225	△265	円 銭 △23.76

(2) 修正の理由

売上高につきましては、当社が平成 26 年 11 月 25 日付に開示しました「ナノ・フレッシュャー等の海外への販売事業展開に向けた取り組みを開始」とおり、主に海外へ向けたナノ・フレッシュャー等の販売事業の取り組みを開始し、その後数か国から引き合いもあったことから、当期の業績予想において、売上の 50%程度を見込んでおりました。しかし、当社において、製品の海外現地における環境対応のカスタマイズ及



Sun Capital Management Corp.

燦キャピタルマネージメント株式会社

びメンテナンス体制の構築が想定以上に難航し、当初計画では第2四半期までに売上を見込んでいたものの、第2四半期決算短信を開示した平成 27 年 11 月 16 日時点におきましては、代理店取引契約のもと、下期中に課題の解決及び売上を実現させていくことを想定しておりました。しかしながら、製品を販売できるに十分な体制が構築できず現在に至りました。

そのような中、本日開示しました「株式会社ナノクスとの「海外における独占的販売権契約」及び「代理店取引基本契約」の契約終了に関するお知らせ」のとおり、今回、当社及び株式会社ナノクスとの協議の結果、代理店としての契約も終了することを決定し、株式会社ナノクスとの取引を終了することとしました。その影響を受け、上記のとおり前回発表した予想を大幅に下回ることとなりました。

なお、今回発表する業績予想の中に、今後の当該製品の売上は見込んでおりません。また、今後、期末までに実現可能と判断した不動産を対象とした取組に伴う売上等を加味した結果、今回の業績予想の数値となりました。

営業利益につきましても、過年度より経費削減に取り組んだ結果販売費及び一般管理費は減少しているものの、売上高の下方修正に伴い前回予想を下回ることとなりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記の要因に伴い、前回予想を下回ることとなりました。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上